

Q いつでも、どこでも、誰でも、何回でも 町内で受けられるPCR検査体制を

A 町単独での体制整備は考えていない



内田 保議員

感染症対策の体制 整備を問う

問 町内で、いつでも、どこでも、誰でも、何回もできるPCR検査

をする体制整備ができないか。またできないなら、美浜町・武豊町等と共同で、半田保健所美浜駐在の場所等で、ドライブスルー等で検査ができる体制整備を考えていくつもりはないか。

答 大岩厚生部長

行政が実施するPCR検査は、すべて都道府県や保健所設置市などの判断により実施するものであるから、町単独での体制整備は考えていない。また、近隣市町と共同でPCR検査の体制づくりも考えていない。8月28日の国の発表では、今後、抗原簡易キットによる検査を1日平均20万件程度まで拡充するとともに、PCR検査や抗原定量検

査の機器を整備し検査需要に対応できる体制が確保される見込みとなっており、今後は医師が必要と判断した方が、PCR検査等を確実に受けるこ

とができるよう住民への情報発信に努めていく。

問 知多郡医師会に關係する自治体と共に、

保護施設の確保、自宅療養セットなどの感染症対策整備を行うことが必要と考えるがその考えはあるか。

答 大岩厚生部長

知多郡医師会管内の市町と一緒に宿泊施設を確保することは考えていない。保健所から、自宅療養や待機を要請された場合、外出が制限されるので、町では親族等から支援を受けることが困難な世帯に対して、自宅療養に必要な食料や日用品の買い物代行や同居家族等への飛沫感染防止用ビニールシートの提供を行う体制を整えている。

問 役場職員、医療、介護、福祉、保育、教育等の関係者には定期的PCR検査が必要であると考えるがどうか。

答 大岩厚生部長

役場職員の定期的なPCR検査について、実施することは考えていない。国から重症化リスクの高い人と接する機会が多い医療関係者、高齢者施設の従事者について検査の拡充の取組みが進められることが示されているので、動向を注視したい。

問 島民からの要望も多い名鉄海上観光船に乗船時の検温・マスク着用等感染症対策を要望していく考えはあるか。

答 鈴木企画部長

島民からの声は、両島の観光協会などから、各島で組織されたコロナウイルス対策委員会の会議も受け、名鉄海上観光船に要望を行っており、対策を講じていただい

ている。体温チェックや船内の抗菌コートの実施も検討していただいている。

問 コロナ禍で、内小・豊中・師中で40人近い密教室になっている。少人数授業・少人数学級を実現するための教員の加配措置をとる考えはあるのか。

答 山下教育部長

教員の加配は人材の確保が必要となる。加配を希望する学校もあったが、加配のための非常勤講師が不足している状況であり、加配措置は実施していない。各小中学校では、教室内で最大限の間隔を取るとともに、授業中の徹底的な換気などの感染防止に努めている。感染症対策をしてもなお、感染リスクが非常に大きいと認められるときは、人材が確保でき、国や県による補助が得られる場合には加配措置を行う予定である。